

興津地域 防災便り 第18号 個別訓練タイムトライアルシミュレーション

2012 (平成24) 年7月30日
興津地域ぐるみ学校安全体制整備推進委員会
京都大学防災研究所矢守研究室

6月26日 個別訓練タイムトライアル 第1弾 いよいよスタート!

今年の防災学習と地域の津波防災対策の一環として、『個別訓練タイムトライアル』を、興津小学校と地域住民、および京都大学防災研究所矢守研究室の三者協力によって行っています。

本訓練は、一人一人が自宅(ふだんいる場所)から、最寄りの避難場所まで、所要時間をはかりながら実際に逃げてみるというものです。避難の様子は、防災学習を兼ねて、興津小の子どもたちが2台のビデオで撮影します。子どもたちは、どのようなところが大変だったか、どこがうまくいかなかったかなど、参加者の感想をお尋ねし記録します。この映像記録は、一人一人の避難について細かく考えるための資料なので、「動画カルテ」と呼びます。さらに、避難する方にはGPSという小さな機械を付けてもらいます。これによって、どの時点でどこまで逃げることができたのかを、後からコンピュータの地図で見ることができます。

本訓練のねらいは、①「動画カルテ」を見ながら、特に高齢者の方や身体が不自由な方が確実に避難するための方法をさぐる、②どのようなハードの整備がさらに必要に関して指針を得る、③子どもたちの防災学習として、これまで以上に現実味のある内容となる、以上の3点があげられます。

梅雨時期の悪天候にもかかわらず、6月26日の午後2時から4時までの間に、小室、郷分、浦分の3つのチームに分けて、4名の地域住民について個別訓練を実施しました。訓練には、14名の興津小の5、6年生(笹岡我意、榊山媛菜、鎮田菜摘、中嶋美優、橋本詩夏、濱崎千野、濱崎のどか、伴ノ内未稀、山本怜依、伴ノ内裕哉、川野将、甬喜本陸登、足達和葉、中嶋麻衣)、興津小の先生方、高知大学の大学生と京都大学の学生・専門家が参加しました。他に、取材のために、NHK大阪、NHK高知、朝日新聞などの報道関係者も駆けつけました。

訓練の様子を紹介しましょう。まず、小室チームです。



梶原政利さん(80)と房美さん(75)ご夫妻が、地震発生を想定した合図から100秒間、テーブルの下で身を守りました。揺れがある程度おさまってから、さっそく非常用持ち出し袋を背負って、雨靴を素早く履いて、小室地区第一避難広場に避難。6分28秒かかりました。その後、もっと大きな津波が来ることを想定して、さらに忠霊塔広場まで

「二度逃げ」しました。そこまで7分38秒かかりました。途中で房美さんは、「だんだんしんどくなったね」とつぶやいておられましたが、政利さんが手を差し出して、お二人は無事にゴール地点に到達しました。

次に、郷分チームです。



松井初子さん(65)が、100秒経過した後、小さなリュックを背負って、帽子と手ぬぐいをかけて、デイサービスセンターさくら貝・興津保育所を目指して逃げ出しました。避難経路には、古い橋が一つかかっています。今年度の防災計画では、補強工事を行う予定ですが、もしその前に地震が起きたら、「遠回りしなきゃ」と松井さんは話しておられました。『百年体操』を熱心に

続けておられる松井さんは、県下一斉防災訓練のときの自分の記録より2分も早く、12分41秒で無事に避難場所まで到着しました。ビデオ撮影を担当した子どもも、喘ぎ喘ぎ、なんとか任務を全うするほどのスピードでした。

最後は、浦分チームです。



橋本環さん(85)が、訓練スタートから100秒後、雨合羽を着て、浦分地区第一避難広場(西宝寺)へ避難しました。大雨が止んだ後の小雨の中、濡れた路面に注意しながらしっかりと一歩一歩、坂を上っていきました。途中で「しんどくなったら、休憩してくださいね」とスタッフが心配しましたが、環さんは休むことなく、9分52秒で無事に避難場所に到着しました。実際に避難するとき、坂が苦手なお年寄りに若者が手を貸してあげたら、津波から多くの住民が助かる可能性が高い。子どもたちからはそんな感想も出ました。

7月3日 個別訓練タイムトライアル 振り返り授業 5、6年生が結果分析



7月3日、興津小学校の5、6年生が、6月26日に行われた『個別訓練タイムトライアル』について、担任の坂口先生、畠山先生と京都大学のチームの指導のもと、振り返りの授業を行いました。勉強の素材は、『4画面マルチ動画』と呼ばれる映像です。これは、4つの画面から構成

されている動画(ビデオ映像)です。左上の画面は、訓練実施者の表情を横から撮ったものです。右下の画面は、訓練実施者と周囲の様子を少し離れて撮影したものです。左下の画面は、上で述べた地図です。GPSの機械で移動の経路やスピードを記録し、それが赤い線と点(訓練実施者の現在位置)で示されています。右上の画面は、訓練実施者の感想を赤い文字で、子どもたちが気づいた点や提案などを青い文字で記したものです。

小室チームの子どもたちは、「机の足につかまるほうがいい」、「狭い道で歩きにくい。草が生えて足がひっかかる」と指摘しました。郷分チームは、「100秒間は脚も隠そう! だっけがすと歩くのが大変」、「車イスの人、坂は押して手伝ってあげる」と次々と提案しました。浦分チームは、「夜は懐中電灯をもって逃げよう」、「すぐに履けて歩きやすく滑りにくい靴がいい」と話していました。子どもたちの素晴らしい防災提言に、先生方や防災の専門家も感心していました。子どもたちの力で、これからもっと安全なコミュニティを作りましょう!

7月10日 個別訓練タイムトライアル 学習発表会 86名の参加者で大成功!



7月10日、興津小学校体育館で『平成24年度第1回防災学習会』を開催しました。会場には、興津小学校全校児童、興津中学校全校生徒と地域住民のほか、四万十町防災対策室、京都大学防災研究所、四万十ケーブルTV、NHK高知、NHK大阪なども集まりました。

子どもたちは、小室、郷分、浦分の3つのチームに分けて、『個別訓練タイムトライアル』の実施状況とその後の振り返り授業でまとめた内容について、それぞれ発表しました。訓練当日の活躍ぶりや事前の準備がよくわかる、すばらしい発表でした。

最後に、訓練実施者で、この日も会場に駆けつけてくださった松井初子さんと梶原政利さんから、感想をうかがいました。松井さんは、「子どもたちから大きな活力をもらいました。『百年体操』で健康を保って若者に負担をかけないように頑張っていきます」と前向きに話されました。梶原さんは、「家を出る前に、ガス栓を閉じるのを忘れていました」と、冷静に当日を振り返りながら、これからも防災にとりくむ姿勢を示されました。自分が参加した訓練を、後でもう一度チェックして、良い点と改善点を振り返ることの大切さを感じました。

学習発表会が終わった後、『興津小中学校合同避難訓練』を実施しました。子どもたちがヘルメットを被って、担任の先生の指導に従って小室地区第一避難広場へ逃げました。中学生は約4分で、小学生は6分36秒で全員が到着しました。最後に走ってきた小学校1年生の子どもも、先生に励まされて頑張っていたのが印象的でした。また、地域の方々も参加してくださいました。みなさん、誠にお疲れさまでした。



あなたもやってみませんか?

個別訓練タイムトライアル 参加者募集

あなたの家から最寄りの避難場所までの経路・タイムを子どもたちが計測し、ビデオ記録(動画カルテ)に残します。ご協力いただける方は、地域ぐるみ防災事務局(興津小学校25-0021北岡)までご連絡をお願いいたします。

問い合わせ先・・・上記の興津地域ぐるみ防災事務局(興津小 北岡 義彦)